Comprehensive Assessment: System for Building Environmental Efficiency CASBEE 札幌



▮評価結果

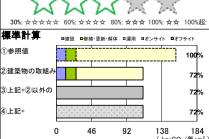
■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2 使用評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

1-1 建物概要			
建物名称	北海道警察学校 術科棟	階数	地上3F
建設地	札幌市南区真駒内南町5丁目1番	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域	平均居住人員	415 人
気候区分	1地域	年間使用時間	3,650 時間/年
建物用途	集会所,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年9月 予定	評価の実施日	2017年2月1日
敷地面積	52,511 m ²	作成者	㈱大建設計
建築面積	1,288 m²	確認日	
延床面積	3,808 m²	確認者	

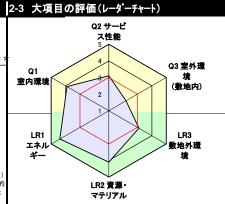
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート 2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



BEE =2.1S: **** A: *** B*: ** B*: ** C: * 3.0 BEE=1.0 100 B+ Ø B-0.5 С 100 50 環**境負荷 L**







2-4 中項目の評価(パーチャ-

音環境

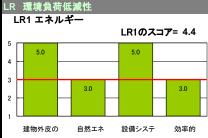


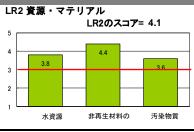
光·視環境

温熱環境











3 設計上の配慮事項 北海道警察学校の全体整備計画に基づいた外観やボリュームとすることで、全体的な一体感を確保し、加えて ・外壁に外断熱工法を採用し、屋上の断熱防水と併せて 周辺環境との調和も図った計画とする。 コールドブリッジがない計画。 ・断熱は外断熱方式をを採用し、また、窓を単窓(ポツ窓)としガラス面積を最小限とし、空調負荷の低減を考 ・雨水再利用のシステムを導入し、水資源の保護に配 公道に面した部分に高木の植栽を配置し、公共空間か 慮した計画としている。 らほとんど見えない配置計画としている。 ・建物躯体や建築仕上げ材にリサイクル材の使用を ・敷地内の緑地率を基準20%に対し24.78%を確 図っている。 保。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

空気質環境

- ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
- ■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される